

# Amami City flower and tree

奄美市の花木等

## 市花

City Flower



シャリンバイ Japanese Hawthorn

在来種で、大島紬の染料にも使われるなど、伝統産業を支えてきた花です。街路にも植栽され、身近に市民に親しまれています。



ハイビスカス Hibiscus

フヨウ属の総称であり、在来種のオオハマボウ、サキシマフヨウ等も含まれますが、一般的にはブツウゲのイメージが市民の間で定着しています。

## 市木

City Tree



リュウキュウマツ Ryukyu Pine

琉球列島の固有種です。大木は奄美に多く、市内には琉球列島屈指の大木もあります。奄美の山の黒っぽい緑を形成している木で、木工芸品なども近年注目されています。海岸線の松林は今後観光資源としても期待されます。



ガジュマル Banyan Tree

木登りやブランコなど子どもの遊び場として、また木陰は住民の憩いの場として古くから市民に親しみのある木です。奄美の民話に出てくる「ケンムン」の棲家とも言われ、奄美の象徴的な木でもあります。

## その他の植物



ヒカゲヘゴ Flying Spider-Monkey Tree Fern

花木のほかに、特殊な植物を市のシンボルに加えることにより、奄美市の植物の多様性、豊富さを内外に示すことができます。ヒカゲヘゴは、古代のジャングルを連想させ、奄美の亜熱帯の深い森を最も象徴している植物です。